

平成20年度 一般会計 予算見積 事業別概要書(当初)

款	4. 衛生費	事業名	4. 自然環境保全・回復費		
項	1. 保健衛生費	細事業名			
目	6. 公害対策費	担当課・係	環境政策課 (執行課: 環境政策課)		

予算分析	臨時経費	継続事業	単独事業								(単位: 千円)	
	(歳入)	(歳出)	財源内訳									一般財源
要求額	0	2,699	要 求									2,699
決定額			決 定									

実施計画の内容	(実施計画における事業の概要)	施策	水と緑に囲まれた、快適で安心して暮らせるまちづくり/環境共生が実現するまちづくり/環境基本計画に基						
	【自然環境の保全・復元・創造に関する業務】	施策体系コード	02-01-02-20-10			事業番号	143-1		
	自然環境の保全・復元・創造を図るために、良好な自然環境モデルとしてのビオトープや環境保全ゾーンの維持管理や整備を行います。	総事業費	19,500千円			事業期間	平成18年度～平成22年度		
	【環境基本計画の進捗管理に関する業務】	年度別事業費	18年度	19年度	20年度	21年度	22年度		
環境の保全及び創造に関する施策を長期的かつ総合的な視点に立って推進するために作成された環境基本計画に定められた取り組みの推進と進捗管理に関する事務を行います。		2,700	2,700	7,700	3,200	3,200			
		(事業実施に関する根拠法令) 佐倉市環境基本条例							

<事業に関する説明>

(事業の説明) 西御門環境保全ゾーンの草刈委託・木道等の補修工事、ビオトープ等の補修・維持管理、岩富佛供谷用地の草刈、畔田沢流域自然環境調査を行う。	(事業の目的) 良好な自然環境のモデルとしてのビオトープ及び西御門環境保全ゾーン等の整備と生態系の保全を目的としている。	(事業の効果) 水辺の生物・生態系の保全と、谷津や里山など身近な自然環境に対する関心が高まる。
(事業実施上の問題点) 西御門保全ゾーンは調整池に隣接していることから、大雨時の洪水被害を受けやすく、定期的な維持管理が不可欠である。また、環境団体との事業協力や市民を対象とした観察会を安全に実施するためにも、進入路や観察道などの施設整備が必要である。	(前年度からの見直し点)	(見積についての特記事項) 環境保全ゾーンやビオトープについては、市民団体の環境活動によって生態系が保全されており、希少種の保全のために、年複数回の計画的な草刈等の保守作業が必要となっている。